

株式会社エネルギー・ソリューション・アンド・サービス 海士風力発電所

■事業概要

本事業は、中国電力が実施する「隠岐諸島における蓄電池システム技術実証事業」の一環として、風力事業分野での協力事業として実施するものであり、海士町に風力発電設備（1,990kw×1基）を設置して実証事業期間中に運転を開始し、風力発電事業を通じて電力の安定供給と環境負荷低減に貢献するものである。

項目	内容
利子補給対象	風力発電設備への融資
所在地	島根県隠岐郡海士町
用途地域	—
発電出力	1,990kw×1基
工事予定期間	平成 29 年 4 月～平成 29 年 12 月
供用開始予定	平成 29 年 12 月

■立地環境

事業予定地は、島根県海士町大字崎の標高約 150m の風通しの良い高台であり、事業予定地及びその周辺一帯は採草放牧地である。なお、最も近い民家は風車設置場所から 650m の位置にある。

■実施した環境影響調査

別途に実施した自主アセスでは、島根県等の公表資料、環境省の自然環境保全基礎調査などの既存文献調査に加え、専門技術者による騒音、低周波音、重要な動物及び植物、猛禽類及び渡り鳥等、電波障害について現地調査を行い、これらの影響の予測評価を実施している。

■関係者（地域住民など）との情報交流の状況

自主アセスの実施に先立って住民説明会を実施し、自主アセスの結果は概要版を関係地区の区長に預けて縦覧を依頼し、区長が自治会総会にて概要版を配布して周知を行った。また、そこで出された意見（2件）は環境配慮計画書に反映された。

■事業者が作成した環境配慮の取組計画（例）

- 立地に係る配慮：自然環境の改変を極力抑え、確認された重要な動植物の生息・生育環境を保全又は適切に確保する計画とする。
- 供用中の配慮：景観として突出した印象を軽減するため、風車は明るい灰色とする。また完成後、騒音及び低周波音の測定、渡り鳥やコウモリ類の飛翔状況の確認、バードストライク等の調査を実施する。



環境配慮に関するコメント

自主アセスにより事業予定地周辺における騒音、低周波音及び動植物の現地調査を実施し、しっかり事後調査を行う計画としていること、自主アセスに先立って住民説明会を実施し、アセス実施後は区長を通して自主アセスの結果を縦覧し、また自治会総会での周知を依頼するなど、積極的な情報交流を実施していることは評価できる。

一方、事後調査でバードストライクや貴重な動植物が確認された場合には、専門家等から助言を受けるとともに、必要に応じて適切な対策を講じるようお願いしたい。また、事後調査の結果については公表し、住民等に説明するようお願いしたい。